

編集後記

(60巻 第7号 2014年7月)

毎年7月になると四条界限では「こんこんちきち」の祭り囃子が聞こえ、京都は祇園祭一色になる。千年以上の歴史をもつ京都を代表する伝統祭である。この祇園祭りが今年から大きく変わるという。これまで7月17日に行われてきた山鉦巡行が「前祭」のメインイベントとなって、これに「後祭」が付け加わる。後祭にも山鉦巡行があつて24日に催される。実は、新しく変わるのではなくて、以前からあつた後祭が130年ぶりに復活するのだそう。後祭は前祭に比べて、落ち着いた祭り情緒あふれたものになるらしい。

京都に長い間住んでいるが、ここ20年祇園祭りを見にいっていない。子供達が小さいときにつれていったが、身動きできないくらいの人多さと蒸し暑さに閉口した記憶が残っている。情緒あふれる後祭なら行ってみたい。

(小川 修)